

安城市教育センター運営計画

(1) 目 的

安城市の小・中学校教育の研究・研修センターとして、教職員の研究活動を支援・推進し、研修・調査研究・教育相談・教育情報活用に関する事業を推進する。

(2) 重点目標

令和7年度学校教育の指導方針である「いのちの教育」「学び合いのある授業づくり」「一人一人を大切にしたいきめ細やかな支援」を踏まえ、学校における教育活動への支援事業の充実に努める。特に、教育センターが教職員みんなの拠り所になっているかという視点で事業を振り返り、反省し、目的を達成していく。

「教職員みんなの拠り所になる場所へ」

(3) 柱とする4つの事業



安城市教育センター事業概要

1 研修 “学びを楽しみ成長する”

(1) 目的

教職員として必要な実践的指導力と専門性を高めるため、人材育成、教育課題の解決、研修成果の還元を目指した研修を設定し、各校の校内研修とともに安城市の教育の充実を図る。

(2) 方針

ア いのちの教育を推進し、プログラミング教育、道徳教育、英語教育等の今日的な課題について、指導・評価・授業の在り方を研修するとともに、実践を踏まえた内容を実施する。

イ 若手教職員の育成を目指した研修や、職務に応じた専門知識や技術を身に付けるための研修を通して人材を育成し、教育者としての資質向上を図る。

ウ さまざまな支援を要する児童生徒への対応について、個々に応じたきめ細やかで、適切な支援を実現するために、校内支援体制を促進するための各校の研修を支援、活性化する。

【令和7年度安城市教育委員会研修事業計画】（P3・4研修事業計画参照）

No.	研 修 名	回数	No.	研 修 名	回数
1	4役合同研修	1	13	学校事務職員基礎研修	1
2	校長・教頭合同研修	1	14	教職基礎研修	4
3	教務・校務研修	1	15	養護教諭基礎研修	2
4	学年主任・生徒指導担当者研修	1	16	指導員国内教育視察	1
5	いのちの教育推進研修	1	17	指導員県外研修	1
6	授業デザイン研修	1	18	QU分析・活用研修支援	各校
7	安城市研究報告会	1	19	学校司書との連携研修支援	各校
8	個への支援推進研修	1	20	ICT活用研修支援	各校
9	新規採用者研修	3	21	生徒指導研修支援	各校
10	2年目教員研修	1	22	エビペン研修会支援	各校
11	3年目教員研修	1	23	ゲートキーパー研修支援	各校
12	2・3・4年目教員合同研修	2	24	LGBTQの理解促進支援	各校

【令和7年度安城市教育センター開設講座】（P5開設講座参照）

No.	講 座 名	回数
1	ICT活用（初級、中級、校務での活用編）	2
2	Skymenu cloud を使って授業をしよう	2
3	いのちの教育サポートプランを生かしたQUの利活用	1
4	個への支援（児童生徒理解）	2
5	私の授業づくり（国語科、理科）	2

【教育センター講演会】

日 時 令和7年8月22日（金） 13：15～

講 師 大阪大学名誉教授 小野田 正利 様

安城市教育委員会研修事業（17種24回）

職 務 研 修										
	研 修 名	対 象 者	参加	回	内 容	方法	日 時	主な育成指標	備考(講師等)	
職 務 研 修	1	4役合同研修	校長・教頭・主幹教諭・ 教務・校務		1	保護者対応トラブルについて考える	講話	8月22日（金） 9:00	校長2、4、11 教頭11C、12C および校長指標 2、4、11を参照 教務・校務 11C、12C	大阪大学名誉教授 小野田 正利
	2	校長・教頭合同研修	校長・教頭 主幹教諭		1	若手とのコミュニケーションについて考 える	講話	8月6日（水） 15:00	校長4、7 教頭4、11Cお よび校長の指標 4、7を参照	愛知学院大学薬学部次長 木林 利行
	3	教務・校務合同研修	教務主任 校務主任		1	折れない心の育て方	講話	7月30日（水） 14:00	5C、7C、8C	エスケーケイ代表取締役社 長 麓 総一郎
	4	学年主任・生徒指導担 当者研修	学年主任 生徒指導担当		1	ネットいじめの現状と対策	講話	7月25日（金） 9:15	7(B～C) 9(B～C) 10(A～C)	兵庫県立大学教授 竹内 和雄
教 育 課 題 研 修										
	No.	研 修 名	対 象 者	参加	回	内 容	方法	日 時	主な育成指標	備考(講師等)
教 育 課 題 研 修	5	いのちの教育 推進研修	・各校正規教員・常勤講師3名 以上 ・希望する非常勤講師		1	心のサポートができる教師に ～ゲートキーパーの役割を学ぶ～	講話	8月1日（金） 14:00	1 5(A～C) 7(A～C)	日本ゲートキーパー協会 理事長 大小原 利信
	6	授業デザイン研修	・各校正規教員・常勤講師3名 以上(理科担当者が望ましい) ・希望する非常勤講師		1	主体的・対話的で深い学びの授業づく り(理科編)	講話	8月20日（水） 14:00	6(A～C) 9(A～C)	福島大学准教授 鳴川 哲也
	7	安城市研究報告会	・各校研究推進担当1名 ・1～4年目教員(養来含) ・希望する非常勤講師		1	昨年度の安城市教育を「振り返る」 ～「主体的・対話的で深い学び」ICTの 学び合い 派遣研究生を中心に～	視聴	動画配信	6(A～C)	
	8	個への支援 推進研修	・各校正規教員・常勤講師3名 以上(特別支援担当者、特別 支援コーディネーターが望まし い) ・希望する非常勤講師		1	特別な支援を必要とする児童・生徒と 他機関とのかわり及び卒業後の進路 について	講話	8月6日（水） 9:15	5(A～C) 8(A～C) 12(A～C)	ぬくもりの郷 副主任 古田 裕昭
少 経 験 者 研 修										
	No.	研 修 名	対 象 者	参加	回	内 容	方法	日 時	主な育成指標	備考(講師等)
少 経 験 者 研 修	9	新規採用者研修	小中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用事務職員 ※新規事務職員(第3回は参加 せずNo.13に参加)	1	開式「安城を支える教師として」 施設見学(北部調理場)	講話	4月23日（水） 14:00	1、11A	教育センター所長	
				2	コミュニケーションスキル向上	講話	8月8日（金） 14:00	4、11A	担当指導主事 指導員	
				3	No.7安城市研究報告会参加	視聴	動画配信	6(A～B)		
				4	閉式「安城を支える教師として」 仲間とともに歩む(郷土学習)、閉式	見学	8月19日（火） 終日	12(A～B)	担当指導主事	
	10	2年目教員研修	2年目教諭・養護教諭・栄養教 諭	1	教師としての企画・構想力アップ& 私の教育相談会 ～野外研修:作手村～	実習	8月20日（水） 終日	4、11A	指導員 担当指導主事	
	11	3年目教員研修	3年目教諭・養護教諭・栄養教 諭	1	私たちの「学び合い」をつくる ～授業研究会で授業者を支える～	実習	未定	6(A～B) 養教・栄養8 (A～B)	会場校校長 指導員	
	12	2・3・4年目教員合同研修	2・3・4年目教諭・養護教諭・栄 養教諭	1	周期開催(R7③、R8①、R9②) ①QU・学級経営 ②生徒指導 ③ICT活 用	講義	7月25日（金） 14:00	6(A～B)	安城市教育センター 社会教育指導員	
				2	No.7安城市研究報告会参加	講話	動画配信	6(A～B)		
	13	学校事務職員 基礎研修	経験3年以下の事務職員(市 外からの転入事務職員等希望 者)	1	周期開催(R7①、R8②、R9③) ①市会計予算執行、②人事任用服 務、③文書情報管理、(④毎年・相談 全般) ※教科書、就学援助は学事係主 催の説明会(4月、12月)に希望して 参加可能	講義	8月21日（木） 14:00	①総務課庶務係 ②指導係 ③④総括事務長		
	14	教職基礎研修	教職経験通算3年 以下の常勤講師 ※希望制(出られない研修が あってもよい) ※内容は昨年度とほぼ同じ	1	子ども理解のヒント	講話	5月16日（金） 14:00	5A、11A	教育センター所長	
				2	社会人としてのマナー・接遇	視聴	動画配信	2	接遇インストラクター 落合 夕子	
				3	私の教育相談会	実習	7月30日（水） 9:00	6A、11A、	指導員	
15	養護教諭基礎研修	安城市勤務経験1年目の養護 教諭(講師) 希望する養護教諭	1	エビエン研修(希望者)	実習	4月21日（月） 15:00	13A	八千代病院小児科		
			2	執務上の課題について (安城市勤務経験1年目の講師と 希望する養護教諭)	実習	7月23日（水） 14:00	3、14A	主任養護教諭		
視 察										
	No.	指導員国内教育視察 (市費)	指導員	1人1回	計5回	先進的国内教育視察	見学	年度内の3月中旬まで に報告書が出せるよう に実施	6C	視察2泊3日以内(視察地 は各自選定)
視 察	16	指導員国内教育視察 (市費)	指導員		1	先進的国内教育視察	見学	年度内の3月中旬まで に報告書が出せるよう に実施	6C	視察2泊3日以内(視察地 は各自選定)
	17	指導員県外研修(県費)	指導員	4	1	先進的実践校等視察	見学	11月18日（火）～ 11月19日（水）(予定)	6C	視察1泊2日(視察県未定) ※視察校との調整によって 日程の変更あり

校 内 教 育 研 修 支 援							
校 内 教 育 研 修 支 援	No.	支 援 名	内 容	方 法	対 象・日 時	主な育成指標	備考(講師等)
	18	QU分析・活用 (年間3校程度)	学級経営に役立つQUの分析・活用	講義	随時	5、7、9、 10、11 (A～C)	社会教育指導員 QUリーダーズネットワーク
	19	学校司書との連携	学校司書と連携した学び合いの 授業実践のヒント	講義	随時	6、11 (A～C)	安城市教育センター 図書館教育アドバイザー
	20	GIGAスクール構想対応 ICT活用	ICTを活用した「学び合い」の推進 メディアリテラシー 情報モラル	講義	随時	6、10、11 (A～C)	安城市教育センター ICT活用アドバイザー
	21	「生徒指導」支援	不登校、いじめ、虐待などの生徒指導上の 問題の早期発見や組織的な対応等につい て考える	講義	随時	5、7、8、9、 10、12 (A～C)	安城市教育センター スクールソーシャルワーカー
	22	エビベン研修会支援 (指定された10校)	シミュレーション実習 カンファレンス	講義	指定日	10 (A～C)	八千代病院小児科
支 援	23	ゲートキーパー研修支援 (年間3校まで)	教職員のゲートキーパーの力の育成 (教職員が、職場内、あるいは子どもたち のかかわりに生かしたり、児童生徒への ゲートキーパー力育成の必要性を理解する ための研修) ※児童生徒への講義ではありません。	講義	随時	10 (A～C)	安城市保健センター職員
	24	LGBTQの理解促進支援	R5年度の市の研修「誰もが命を大切にされ る学校に」(遠藤まめた氏)の研修動画を活 用し、必要な配慮等について考える	講義	随時	8 (A～C)	アンサーバー>02共有教材情報>LGBTQ の理解促進動画(校内教育研修支援)

教 育 セ ン タ ー 講 演 会						
講 演 会	No.	講 演 会 名	内 容	方 法	日 時	備考(講師等)
	25	いじめ問題に関わって必要なこと(仮)	「いじめ防止対策推進法」下で起きている学 校・子ども・保護者関係の変容を前にして最 も必要なこと	講話	8月22日(金) 13:15	大阪大学名誉教授 小野田正利

令和7年度安城市教育センター開設講座

※赤色：いのちの教育、水色：学び合い、緑色：個への支援 ※育成指標については、この限りではありません。受講者が自身の学びに応じて判断してください。

開設講座									
No.	講座名	回	内 容	方法	日 時	育成指標	備考(講師等)		
開設講座	1		はじめてでも大丈夫！ICTでつくる新しい学び ～先生も自立した学習者、自信をもって授業に活か そう！～	1	Microsoft365をほとんど活用していな い先生～Teamsは使えるぐらいの先生 向け	実習	7月22日（火） 9:00	6 (A)	愛知県教育委員会 ICT教育推進課 ICT教育グループ 川出 功辞
	2		ICTで変える！学習者が動き出す授業デザイン ～先生が頑張る授業から子どもが学び合う授業へ～	1	学習者主体の授業を目指している先 生、Microsoftの使い方がある程度知っ ている先生向け	実習	7月22日（火） 13:30	6 (A～B)	
	3		Skymenu cloudを使って授業をしよう 初級編	1	Skymenu cloudをあまり使ったことがな い、使い方に自信がない方向け。基本 的な活用方法を中心に学ぶ。	実習	7月23日（水） 9:00	6 (A)	
	4		Skymenu cloudの機能を使いこなそう 中級編	1	基本操作を習得している先生向け。 SKYMENU Cloudの便利な活用法を学 ぶ。	実習	7月23日（水） 13:30	6 (A～B)	Sky株式会社インストラクター SKYMENUエキスパートTeacher
	5		「いのちの教育」サポートプラン を生かした「QUの利活用」	1 (2)	自分でQ-Uが分析できる 学級経営の手立てを考える 教師を育てる講座	講話	7月29日（火） 9:00	5、9 (A～C)	東海地区Q-Uリーダーズ ネットワーク
	6		「個への支援」 キレやすい子への対応のヒント	1	発達障害等への理解を深め、具体的 な対応について考える	講話	8月1日（金） 9:00	5、8 (A～C)	特別支援教育アドバイザー 稲垣 隆佳
	7		「個への支援」 不登校児童生徒理解と支援のヒント	1	安城市における不登校支援の実情を事 例を通して理解する。また、SSW・支援 団体とともに、不登校児童生徒のよりよ い支援の在り方について考える。	講話	8月19日（火） 9:00	5、8、12 (A～C)	SSW 安城市不登校・ひきこもり 支援ネットワーク 三浦 陽市 SSW他
	8		私の授業づくり 国語科授業実践のヒント	1	国語科「学び合う」授業のヒント	講話	7月29日（火） 13:30	6 (AからC)	国語科指導員
	9		私の授業づくり 理科授業実践のヒント	1	理科「学び合う」授業のヒント	講話	8月20日（水） 9:00	6 (AからC)	理科指導員

2 調査研究 “学校教育の「これから」を形にする”

(1) 目的

学校教育が抱える今日の課題や長期的展望に立った課題について、教職員の資質向上につながるより実効性のある調査研究を進め、授業で役立つ教材資料の充実や、各教員の研究を支援する体制の充実を図る。

(2) 方針

指定研究や自主研修等を生かして、各教員の教育研究を支援し、教師としての力量を高める。

安城市教育委員会指定研究の推進

- ・研究員は、所属長および本人の了解を得て、安城市教育委員会より委嘱する。
- ・各研究班に顧問校長を依頼し、指導主事、指導員が1名以上参画する。
- ・研究委員の互選による責任者を中心に企画運営を行う。

No	研究グループ名	研究内容の概要
1	特別支援教育スタートアップ研究	○特別支援教育の基礎的な知識等についての研究
2	日本語適応指導推進研究	○体系的かつ総合的な日本語指導のガイドラインについての研究
3	教師力向上支援研究	○「ん!!」と思ったときに開く先生の教科書」の改訂作業
4	学校教育と著作権の関わり研究	○教材づくりにおける著作物の取り扱いと教員間で使えるデータベースづくり

自主研究グループ

自主的な研究活動により、教師としての力量を高めるとともに、地域に生きる教師の親和共励を図る。

- ① 健康教育研究「はぐくみ」の会
- ② 「教師力」を高める「勇気づけ」の心理学
- ③ 「できた」を増やす学習支援の会
- ④ 学び合いの授業づくりに向けたICT
- ⑤ みんなの日本語教育
- ⑥ 低学年の学びを支える会
- ⑦ 重松鷹泰先生の足跡から学ぶ会
- ⑧ あなたの町にもきっとあるはず♪わくわく地域教材の会

指定研究グループ成果物

SSWを通じて、様々な関係機関とつながることができます。
まずは、お気軽に連絡、相談をしてください。



「SSWとの連携支援研究」

が作成したリーフレット



資料1 【走る・⑧リバーシ】

授業の導入時に補助運動として取り入れた。



資料2 【走る・⑦落とさずつかまえる】

放課後の時間に、遊びを楽しんでいた。



【跳ぶ・⑨大縄跳び】

学年行事とタイアップすることで、記録を伸ばすために意欲的に練習していた。



資料3 【走る・⑩ねことねずみ】

特別支援学級による、体育の主運動として活用した。クラスのみんなと楽しく行う様子が見られた。

「体力・運動能力アップ推進研究」

作成した運動プログラム集

教育研究論文の募集

《教育研究論文》

〈募集領域〉

- 1 教科指導（各教科）
- 2 道徳科
- 3 外国語活動
- 4 総合的な学習の時間
- 5 特別活動
- 6 特別支援教育
- 7 教育相談
- 8 学校・学年・学級経営
- 9 生徒指導
- 10 進路指導
- 11 健康教育
- 12 その他



開設講座「社会科『学び合う』授業のヒント」

研究紀要の刊行

1年間の教育研究の概要をまとめる

【掲載内容】

- ・研究委嘱校の研究概要
- ・教科指導員の3年間にわたる継続的研究のまとめ
- ・派遣研究生の研究成果紹介
- ・教育論文特選者の全文と応募者一覧



研究紀要第62集

教職員の研究相談

- ・研究・実践上の諸問題について、随時教職員の相談に応じる。
- ・研究図書や先行研究、実践例、講師や研究校等の情報を提供する。
- ・Q U検査結果をもとに、学級経営相談の機会を設ける。



開設講座「外国にルーツのある児童生徒への理解と支援のヒント」



解説講座「学校生活をデザインするためのICT活用」

派遣研究生

- ・1年間、研究機関へ派遣し、年度末に研究資料および報告書を作成する。
- ・次年度の研修等において、研究成果を発表する。
- ・研究紀要(第63集)に研究概要を掲載する。

教育研究諸機関との連携

全国教育研究所連盟、東海北陸教育研究所連盟への加入により、各地の先進的な研究の交流を行う。

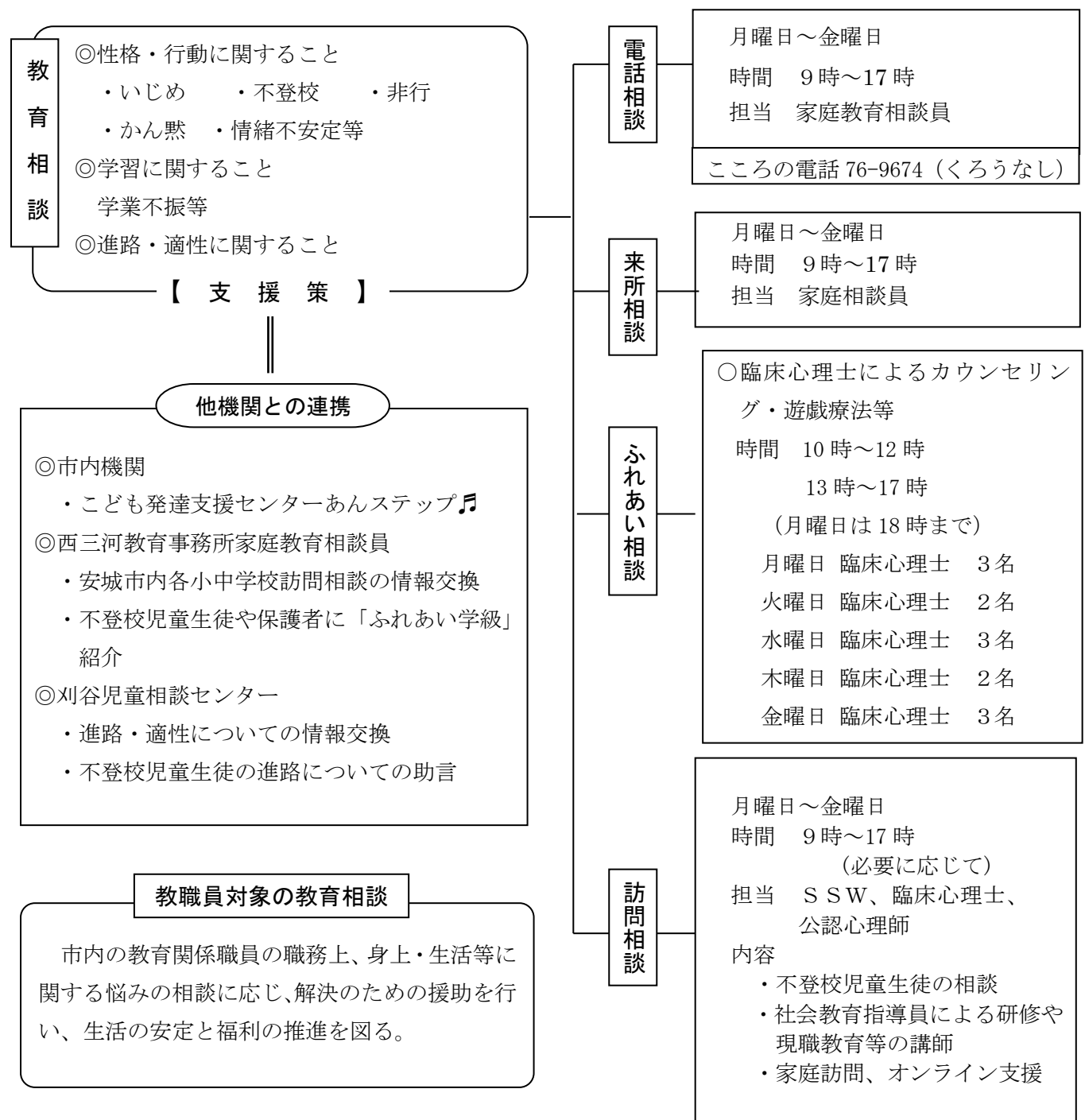
3 教育相談 “自立に向かって力を合わせる”

(1) 目的

いじめ・不登校や進路・適性等に関する相談をはじめ、保護者や教職員のさまざまな相談に応じる。不登校児童生徒を支援するために、学校との連携を図り、適応指導教室「ふれあい学級」活動の一層の充実を図る。

(2) 方針

- ア 社会的な自立を目指した環境を整えるために、保護者、学校、関係機関と連携する。
- イ 適応指導教室への継続的な通室や社会復帰のために家庭との連携を密にする。
- ウ 特別支援等のさまざまな支援を要する児童生徒への教育相談の充実を図る。
- エ 子ども発達支援センターを始めとする関係諸機関との連携を図り、関係学校への支援をつなげる。



適応指導教室「ふれあい学級」

【通室時間】 センター教室…月・火・水・金曜日 午前9時～午後3時

南・北教室 … 火・水・金曜日 午前9時～午後3時

*木曜日はいずれも午前9時～正午

*夏季・冬季休業中も学習日を設ける（午前9時～午前11時30分）

- 不登校児童生徒の社会的自立を目指した個別指導、生活指導、対人関係・社会性の指導、補充学習および面談等を行う。
- S S Wや適応指導教室指導補助員による家庭訪問支援を行う。また、他機関との連携を強化し、不登校児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行う。
- 通室面談や保護者面談を実施して、家庭との連携を密にする。
- 通室状況報告書の作成、教育相談・担任面談の実施を通して学校との連携を図る。
- 月1回月例会をもち、通室生の状況や家庭訪問支援について情報を共有し、個への支援の在り方を話し合う。

◎ 達成感・成就感を生む個に応じた補充学習

- ・学習への達成感や成就感を生むために、各自に学習内容を自己決定するように促し、決めたことに最後まで取り組めるよう個別に支援したり努力を認めたりする。
- ・学習意欲を高めるために、面談を通して学習の動機づけを図り、個に応じた支援を継続する。
- ・学習の足跡を積み重ねることで、自分の努力が見える化し達成感が味わえるようにする。

◎ 社会性を育てる異年齢集団活動の推進

- ・ゲーム的活動(将棋・トランプ・オセロ等)
- ・軽スポーツ(卓球・バスケットボール・サッカー等)
- ・共同作業的活動(栽培・調理・工作・実験等)
- ・校外活動(遠足・社会見学等)
- ・外部の団体と活動を共にすることで、興味関心を広げたり、コミュニケーション力を養ったりする。
- ・S S Tを行い、対人スキルを養う。
- ・人間関係づくりを学ぶために、ボランティアと子どもたちが一緒に学習活動や体験活動に取り組む。

◎ 自己決定力や成就感を得るための個人的活動の推進

- ・アイデアを生み出しやすく、個を生かす活動
- ・持続力を養い、成就感を生む活動
(楽器演奏・工作・絵画等)

◎ カウンセリングの実施

- ・活動の様子から心理状況を捉え、個に応じて生活をよりよくするための自己決定を支援していく。
- ・ふれあい学級運営会議で、個々の状況分析と期待する段階的な姿を明確にし、必要に応じてカウンセリングを実施する。

保護者との連携

- 保護者のカウンセリング
- 通室面談・保護者面談
- S S Wによる訪問支援、オンライン支援

学校との連携

- 教育相談・担任面談
- 通室状況報告書の作成・送付
- 訪問支援
S S Wが計画的に学校を訪問し、管理職や関係職員、S Cと体制づくりや対策・支援について話し合う。
- 登校支援・交流支援
個々の通室生の状況に合わせて、学校の情報を発信したり、担任等との交流の機会を設定したりする。

【運営会議】

助言者を招き、活動記録に基づいて個の理解と運営について話し合う。

【不登校に関する調査研究・事業】

不登校の実態把握、支援方法の研究、学校復帰後の追跡調査を行う。

【家庭訪問支援】

学校や保護者の要請を受け、S S Wや適応指導教室指導補助員が家庭に出向き、児童生徒の社会適応に向けた支援を行う。

4 教育情報活用 “「知りたい」を届ける”

(1) 目 的

学び合いのある授業づくりや事務の効率化に寄与するために、教育関係情報の収集や共有を進めるとともに、安城市独自の教育情報提供および活用促進に努める。

(2) 方 針

- ア 校務支援ソフトの円滑な運用を図る。
- イ 安城市教育情報ネットの一層の活用を図る。
- ウ ICT活用のための情報提供及びICT教育の推進を図る。
- エ 情報教育支援事業と情報モラル教育の推進を図る。

安城市教育情報ネットの管理・運用・活用

・研修・講演

学校教育に関わる研修や講演

保護者対象の講演が行われる際の、学校への案内配布

・教育図書閲覧

図書室にて教育に関わる書籍や雑誌の閲覧・貸出（一部）

教科用図書の閲覧

・教育相談

小学生から中学生までの本人・保護者（安城市内在住者）との相談

不登校や発達障害などの教育に関わる相談（電話・来所）

G I G A ス ク ー ル 構 想 の 推 進

・NEXT GIGA支援室の設置

より質の高い教育の実現に向けたICTの活用推進

タブレットやアプリ等のICTを効果的に活用した学び合いのある授業づくりの推進

学習の状況に応じた教材の提供による知識・技能の習得等、効果的な学びの支援

教育機器利用の研究や利用促進、タブレットを利用したオンラインでの配信についての研究

情報活用能力（情報の収集・取捨選択・構成・発信）とICT機器活用能力の育成

情報教育の推進およびICT活用の支援のための、情報技術者（SE）の派遣

○教材・教育図書の貸出サービス

・教材（CD、DVD）

・教育図書

併せて10（本・冊） 3週間以内

○教育センター所報『啐啄』の発行

・教育センターの活動紹介や教育情報等の提供をする。

・年間3回発行（4月・9月・1月）



所報『啐啄』

安城市教育センター講演会

教育センター講演会

令和7年8月22日（金） 13:15～

大阪大学名誉教授 小野田 正利 氏

第62回かがくのひろば

- ・期 日 令和8年1月17日(土)～1月18日(日)
- ・場 所 へきしんギャラクシープラザ（安城市文化センター）
- ・表 彰 かがく大賞 エコロジー賞 ウェルビーイング賞 優秀賞 入賞
- ・出展者 市内小中学校 安城市少年少女発明クラブ
- ・その他 「あいち少年少女創意くふう展」「全日本学生児童発明くふう展」等への出展

令和7年度 教職員余技展

令和2年度より、常時展示

- ・出展者 市内小中学校の教職員による自由参加
- ・展示場所 2階展示ロビー
- ・展示作品 絵画・書・写真・収集物・彫刻・陶芸・手芸・生け花 等



昭和55年	4月1日	安城市教育研究所開設準備
	5月31日	「研究所だより」創刊号発行
	10月1日	条例・規則の施行 開所 初代所長 小野内 英司氏 就任
	12月24日	VTR編集機設置
56年	4月1日	2代所長 坂倉 禪溪氏 就任
	4月17日	東海北陸教育研究所連盟に加盟
	6月9日	全国教育研究所連盟に加盟
57年	4月12日	教育研究所改装工事検査
58年	4月1日	3代所長 岡田 仁氏 就任
60年	2月28日	創立5周年記念誌「5年の歩み」および別冊（研究所だより合本）を発行
	4月1日	4代所長 田中 實氏 就任
62年	4月1日	5代所長 神谷 美好氏 就任
63年	6月23日	コンピュータ研修室設置
	6月24日	新ビデオ編集システム導入
	10月1日	6代所長 石川 満氏 就任
平成元年	2月1日	2階研修室を桜町小学校教室に転用のため閉室
	4月1日	7代所長 杉浦 健氏 就任
	6月28日	OHP、VTR等視聴覚機器補充
3年	1月17日	3階研修室を桜町小学校教室に転用のため閉室
	4月1日	8代所長 味岡 亘氏 就任
	6月21日	研究所要覧発行
	11月1日	創立10周年記念誌「教育研究所の歩み」発行
4年	10月1日	安城市教育センター（仮称）専門委員会の設置および第1回委員会の開催
	10月21日	第2回専門委員会の開催
5年	4月1日	安城市教育センター（仮称）事業採択 平成5年度・6年度継続事業で建設
		9代所長 神谷 輝幸氏 就任
	7月2日	教育センター建設工事起工式
6年	4月1日	条例・規則の改正、安城市教育研究所を閉所、安城市教育センターとして業務開始
		初代所長 久永 雅俊氏 就任
	5月18日	安城市教育センター定礎式
	7月26日	安城市教育センター開所式 教育センターだより「啐啄」創刊号発行
	8月1日	開所記念教育講演会開催「講師：東京家政学院大学長 河野重男氏」
	10月15日	市民向けコンピュータ講座開始（土曜日4回開設）
7年	3月1日	安城市教育センター情報ネットワーク開設式
	5月1日	「安城市教育研究所だより」創刊号～84号合本発刊
	6月30日	第1回安城市小中学校ふれあい会議開催
	7月4日	生涯学習・市民教養講座「わかりやすいまちづくり講座」開始
8年	2月6日	第1回教職員余技展開催
	4月1日	2代所長 神谷 美好氏 就任
	5月20日	インターネット接続開始
	9月12日	インターネットで英会話授業（安祥中とホブソンズベいの中学校）
	11月7日	戸田提山氏より書の寄贈「愛語よく廻天の力あるを学すべきなり」
	11月30日	安城市小中学校ふれあい会議主催ふれあいサミット開催（「ふれあい宣言」採択）

9年	4月 1日	3代所長 田中 賢氏 就任
	11月 26日	市内8中学校インターネット導入見学会
	12月 1日	市内8中学校ホームページ開設
	12月 19日	第1回安城市教育センター・データ審査委員会
10年	4月 1日	市教委指定研究グループにおいてマルチメディア教材開発開始 臨床心理士による「治療教育」開始
	5月 26日	デジタル・システム工事
	11月 2日	市内小中学校ホームページ登録・運用開始
11年	4月 1日	市内全小中学校ホームページ独自管理運用開始
	7月 16日	文部省・郵政省「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」(衛星回線工事開始)
	7月 27日	開所5周年記念講演会開催「講師：茨城大学助教授 新井 孝喜氏」
	8月 6日	ビデオ教材購入開始(視聴覚センター選択部会)
12年	1月 6日	緊急雇用対策情報教育支援事業開始(情報技術者の学校派遣)
	4月 1日	4代所長 岡田 義征氏 就任 新情報システム事業開始(週2日、情報処理技術者の常駐) インターネットによる情報提供開始
	8月 14日	教育センター・ホームページ全面更新
	11月 1日	インターネットによるデータベース提供開始
13年	3月 9日	コンピュータ研修室のコンピュータ更新
	4月 11日	教育図書、研究資料、視聴覚センター教材・機器等のデジタル化開始 (緊急地域雇用創出支援事業によるデータ入力補助員3名)
	7月 3日	適応指導教室幼稚園実習開始(年5回)
	7月 16日	適応指導教室自然教室開始(作手村1泊2日)
	9月 1日	教育センター・桜町小学校無線LAN接続によるインターネット高速化試験開始
14年	9月 1日	コンピュータソフトウェア教材開発開始
	4月 1日	5代所長 杉浦 紀久氏 就任 文部科学省「ふれあい学級マルチメディア活用研究委託事業」開始
	6月 1日	視聴覚センター巡回ビデオ小中学校開始
	11月 15日	全国適応指導教室連絡協議会東海北陸地域会議愛知大会開催
15年	4月 1日	文部科学省「スクーリング・サポート・ネットワーク事業」開始
	7月 15日	デジタルビデオ編集専用機の導入
16年	2月 4日	第1回「自作教材フェア」開催
	4月 1日	6代所長 山本 隆教氏 就任
	5月 12日	市教委指定研究グループにおいて学校との連携研究開始
	7月 26日	開所10周年記念講演会開催「講師：相田みつを美術館館長 相田 一人氏」
17年	5月 16日	視聴覚センター「DVD対応ビデオプロジェクター」貸し出し開始
	9月 1日	学校間ネットワーク運用開始
18年	4月 3日	7代所長 岩月 俊之氏 就任
	4月 13日	特別支援教育相談開始
	5月 12日	就学指導相談開始
	10月 23日	図書およびビデオ等の電子貸出システム開始
	12月 12日	新規購入図書・ビデオ等の学校間ネットワークを活用した情報提供開始
19年	4月 1日	8代所長 杉浦 智之氏 就任
	4月 2日	情報教育支援事業開始(年次更新作業)

	9月 5日	全職員への教育情報のメール配信開始
20年	4月 1日	市民講座を廃止 ふれあい学級での学習ソフト使用開始
	6月 17日	ふれあい学級と学校の担任を結ぶ「ふれあいほっとライン」開始
21年	4月 1日	9代所長 阿部 佳之氏 就任
22年	4月 1日	10代所長 早川 昭二氏 就任
23年	4月 1日	11代所長 三宅 信夫氏 就任
	5月 24日	「校務支援ソフト」中学校運用開始
24年	4月 27日	「校務支援ソフト」小学校運用開始
25年	5月 21日	ふれあい学級への学生等ボランティア採用開始
26年	4月 1日	学校経営アドバイザーの配置
	7月 24日	開所20周年記念講演会開催「講師：早稲田大学教職大学院教授 田中 博之氏」
27年	3月 1日	タブレット端末導入
	3月 25日	教育委員会移転のための改修工事完了
	4月 1日	12代所長 大見 健治氏 就任
29年	4月 1日	13代所長 安藤 寿英氏 就任
		学校図書館教育アドバイザーの配置
30年	4月 1日	不登校児童生徒支援アドバイザーの配置
31年	2月 1日	プログラミング教材「レゴWeDo2.0」貸し出し開始
	3月 31日	安城市視聴覚センター廃止
	4月 1日	14代所長 神尾 壽明氏 就任
令和元年	6月 24日	学校用高速カラープリンタ設置
2年	1月 21日	
	～ 24日	教職員余技展「Final」開催
	4月 1日	不登校児童生徒支援のためのつながりディレクター（2名）配置
	4月 1日	ふれあい学級として、南教室・北教室を設置
3年	4月 1日	GIGAスクール推進室設置
	4月 1日	ICT活用アドバイザー（1名）配置
	4月 1日	不登校児童生徒支援のためのつながりディレクター増員（1名）
4年	4月 1日	15代所長 都築光男氏 就任
	4月 1日	つながりディレクターとの兼任による スクールソーシャルワーカー（SSW）配置（4名）
5年	4月 1日	社会福祉士をスクールソーシャルワーカー（SSW）として配置（2名）
6年	4月 1日	16代所長 井上幹夫氏 就任
		GIGAスクール推進室を、安城NEXT GIGA支援室として改編
		スクールソーシャルワーカー（SSW）としての社会福祉士を増員（3名体制）
7年	4月 1日	特別支援教育アドバイザー（1名）配置
		CS（コミュニティ・スクール）学校サポーター（2名）配置
		スクールソーシャルワーカー（SSW）としての社会福祉士を増員（5名体制）
		教育センター内にふれあい学級第2教室を設置

安城市教育センター設置条例

(昭和 55 年 9 月 29 日
条 例 第 30 号)

改正 平成 6 年 3 月 28 日安城市条例 第 7 号 平成 13 年 3 月 23 日安城市条例第 6 号
平成 17 年 6 月 30 日安城市条例第 42 号抄 令和 2 年 3 月 27 日安城市条例第 10 号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 30 条の規定に基づき、安城市教育センター（以下「教育センター」という）の設置に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 教育の充実と振興を図るため、教育センターを設置するものとし、その名称及び位置は次のとおりとする。

名称 安城市教育センター 位置 安城市横山町下毛賀知 13 番地 1

2 教育センターに適応指導教室を置くものとし、その名称及び位置は次のとおりとする。

名称 ふれあい学級 位置 安城市横山町下毛賀知 13 番地 1

名称 ふれあい学級北教室 位置 安城市東栄町 6 丁目 9 番地

名称 ふれあい学級南教室 位置 安城市和泉町大下 38 番地 1

(事業)

第3条 教育センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 教育関係者の研修に関すること。
- (2) 教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること。
- (3) 教育相談に関すること。
- (4) 教育に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (5) その他教育の充実と振興を図るため必要な事業に関すること。

2 適応指導教室は、前項第 3 号に掲げる事業のうち不登校児童生徒への支援に関するものを行う。

(職員)

第4条 教育センターに所長その他必要な職員を置く。

(企画運営委員会)

第5条 教育センターの企画及び運営について審議するため、安城市教育センター企画運営委員会を置く。

(教育委員会規則への委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、教育センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則 この条例は、昭和 55 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 6 年 3 月 28 日安城市条例第 7 号） この条例中、第 1 条の規定は、平成 6 年 4 月 1 日から施行し、第 2 条の規定は、別に教育委員会規則で定める日から施行する。（平成 6 年 6 月教委規則第 6 号で、同 6 年 7 月 26 日から施行）

附 則（平成 13 年 3 月 23 日安城市条例第 6 号） この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 6 月 30 日安城市条例第 42 号抄） この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 2 年 3 月 27 日安城市条例第 10 号）

(施行期日)

1 この条例は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(明祥地域複合施設条例の一部改正)

2 明祥地域複合施設条例（平成 27 年安城市条例第 49 号）の一部を次のように改正する。（次のよう略）

施 設 ・ 設 備

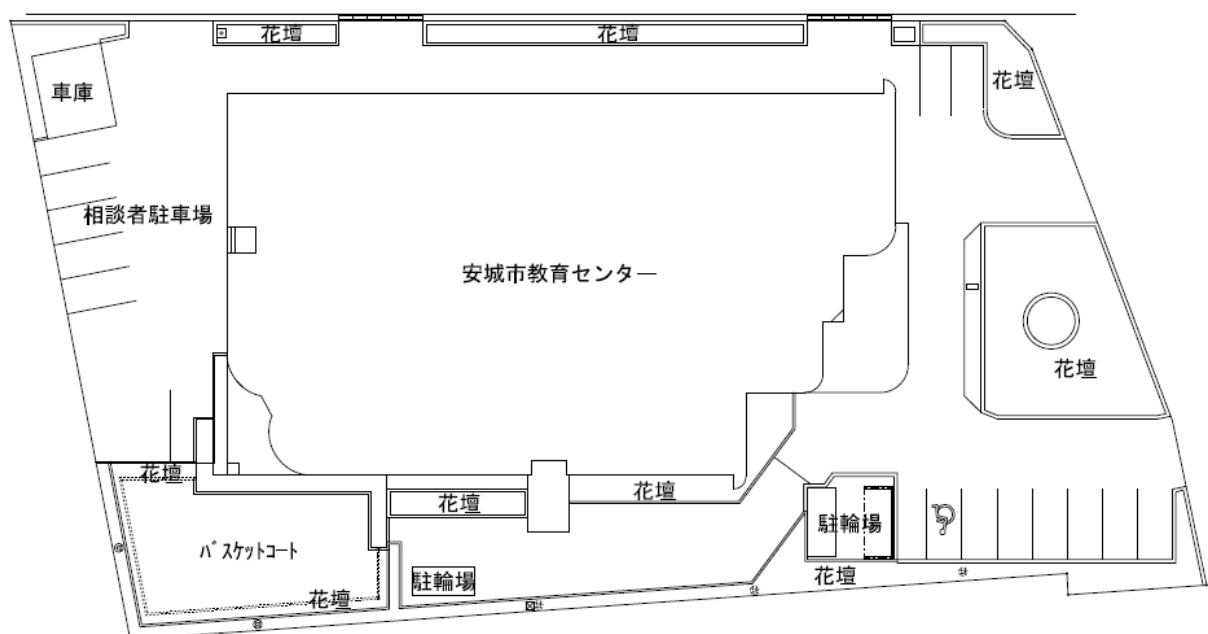
施 設

建設地	安城市横山町下毛賀知 1 3 番地 1
敷地面積	3136.00 m ²
建築面積	1195.68 m ²
延床面積	3136.74 m ²
内訳 1 階	1147.50 m ²
2 階	1117.87 m ²
3 階	833.04 m ²
塔屋床面積	38.33 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階
基 礎	鉄筋コンクリート造杭打独立基礎
建物最高高	16.35 m
仕上げ概要	屋根 アスファルト防水 外壁 磁器質タイル (95×45) 一部複層塗材吹付

設 備

電気設備	
受電電力	180 kW
火災報知設備	受信機 P 型 1 級 20 回線
ITV 観察装置	プレイルーム テレビカメラ 1 台
空調設備	
冷温水発生機	
冷却塔一体型ガス焚二重効用吸収式 (2 台)	
都市ガス L N G	
空気調和機	1 台
パッケージエアコン	2 台
給排水衛生設備	
給水設備	市上水道
受水槽 F R P (二層式) 18,500ℓ	
高置水槽 S U S 6,000ℓ	
排水設備	屋内・汚水・雑排水分流式市下水道
消火設備	屋内消火栓 6 か所

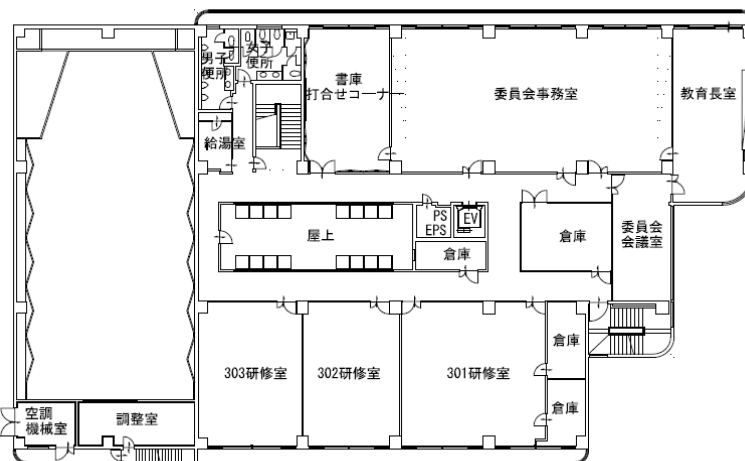
【配置図】



平面図

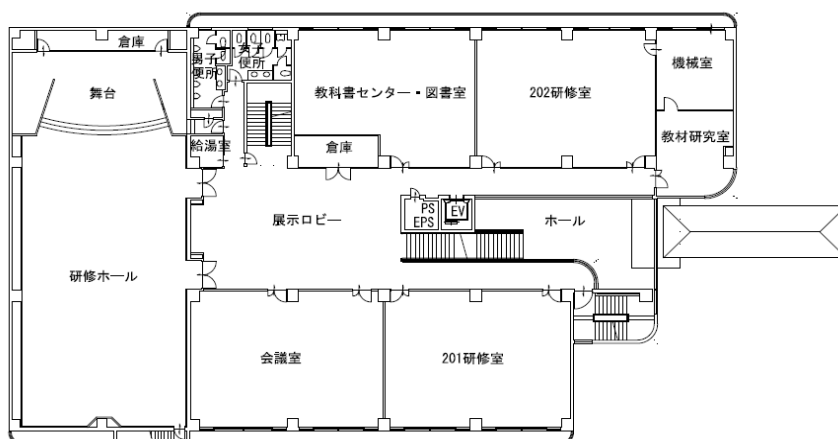
(収容人数・名)

教育長室	60.8 m ²
教育委員会事務局	188.1 m ²
書庫・打ち合わせコーナー	53.0 m ²
委員会会議室	35.0 m ²
301 研修室	110.7 m ² (32)
302 研修室	57.7 m ² (33)
303 研修室	62.3 m ² (33)



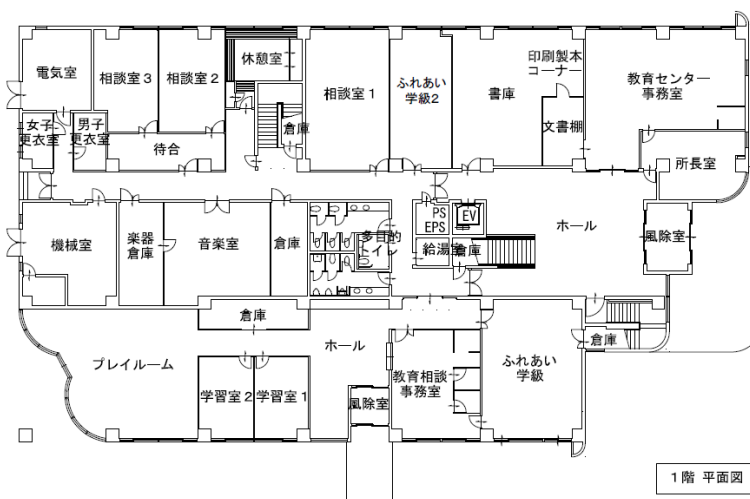
3階 平面図

研修ホール	325.4 m ² (226)
会議室	117.7 m ² (42)
201 研修室	113.0 m ² (63)
202 研修室	110.7 m ² (60)
教材研究室	58.5 m ²
教科書センター・図書室	96.6 m ² (23)



2階 平面図

所長室	28.5 m ²
教育センター事務局	81.7 m ²
書庫・文書棚	78.5 m ²
ふれあい学級 2	38.0 m ²
相談室 1	53.2 m ²
相談室 2・3	84.5 m ²
音楽室・楽器倉庫	72.1 m ²
プレイルーム	82.3 m ²
学習室 1・2	38.4 m ²
教育相談事務局	43.4 m ²
ふれあい学級	59.7 m ²



1階 平面図

◎利用案内

■開館時間 *午前8時30分～午後7時（月～金）

■教育相談 *月曜日～金曜日

午前9時～午後5時

■休館日 *土・日曜日

*電話による相談にも応じます

*祝日、国民の休日

（上記の時間内に76-9674まで）

*12月29日～翌年1月3日まで

*教育委員会の定める日

■視聴覚機材、教材の利用

*楽器類 2週間以内

*教育図書 3週間以内・10冊まで

◎案内図

【交通案内】

安城市教育センターへの交通案内

- ・JR東海道新幹線・東海道本線「三河安城駅」より、タクシー約10分
- ・JR東海道本線「安城駅」より、あんくるバス約10分、タクシー約7分
- ・名鉄名古屋本線「新安城駅」より、タクシー約15分
- ・名鉄西尾線「南安城駅」より、あんくるバス約20分、
タクシー約10分

（あんくるバス循環線左まわり「教育センター」停 下車）

